

第12期 島根県地球温暖化防止活動推進員養成研修 ／島根県地球温暖化防止活動推進員研修

令和6年11月24日 於：大田市あすてらす

このたび、島根県では島根県地球温暖化防止推進員の第12期の募集が行われ、2名の方から新たに応募いただきました。エコサポしまねでは、初めて推進員となるための方のための養成研修を開催しました。また、研修会には12期へ継続いただいた推進員さんにも参加いただきました。ありがとうございました。

講演

「気象予報士が見た気候変動と身近な影響」

気象予報士 石川博康氏（山陰放送株式会社報道制作局制作技術部）



気象予報士や防災士としても 活躍されている石川博康氏から、温暖化

による異常気象の増加や温暖化止の重要性を伝える時のポイント等についての講演をいただきました。

今後、温暖化により、冬が暖かくなるだけでなく、水蒸気量の上昇により、夏の豪雨だけでなく、冬の「ゲリラ雪」もあり得るのではないかとのお話がありました。



みなさんメモを取りながらお話をしっかり聴かれ、質問も続出



推進員制度と取り組みについて

県環境政策課からは推進員制度についての説明がありました。またエコサポしまねからは、当事務所での事業などを紹介し、推進員としての取組の促進や、事業への協力をお願いなどについてご説明をしました。



修了証授与

新しく推進員に応募された方には、全講座の終了後、「修了書」を授与させていただきました。



今回の養成研修を受講され、第12期は、新しく2名の方も加わり、34名の方が推進員として委嘱されました。どうぞよろしくお願いたします。今期も継続された推進員さん、11期では大変お世話になりました、引き続きよろしくお願い致します！



出雲地区サポーターズの活動紹介

6/22(土) 災害時にも役立つエコストーブで作る食事と
能登半島地震支援活動のお話



使用済の割り箸を燃料にして調理開始！
エコストーブは災害時の緊急暖房、また調理器具としても使えます。
シンプルな構造なので、自作する人もいます。

エコストーブを知っていますか？

少量の燃料で高い火力を生み出すことができる燃焼効率の高いストーブです。
化石燃料がなくても、使用済の割り箸や枝、竹など身近な材料で高火力が得られ、キャンプでの使用はもちろん、非常時の備えとしても役立ちます。

出雲市総合ボランティアセンター長から、お正月に発生した能登半島地震の支援活動の講演がありました。



具沢山の豚汁、五穀ご飯、ふかし芋が出来ました。
調理ゴミはゼロで、おいしくいただきました！

7/26(金) 松江市川向リサイクルプラザと 松江バイオマス発電(株)の見学会



川向リサイクルプラザは家庭から出された紙製容器包装やプラスチック容器包装などの資源化を図るための中間施設です。
正しく分別されないと業者に引き取られないため、手作業で正しく分別する作業をしなければなりません。家庭で正しく分別されれば、この作業は軽減されます。



松江バイオマス発電所は、島根県東部を中心とする近隣地域の間伐材など、未利用材などを加工した木質チップを燃料として発電しています。
太陽光発電や風力発電と比べ季節や天候を問わず安定して発電することが出来ますが、林業人口の減少という課題がありました。